

国語科年間指導計画

第3学年

学習目標

- (1) 相手や目的に応じ、調べた事などについて、筋道を立てて話すことや話の中心に気を付けて聞くことが出来るようにするとともに、進んで話し合おうとする態度を育てる。
- (2) 相手や目的に応じ、調べたことなどが伝わるように、段落相互の関係などを工夫して文章を書くことが出来るようにするとともに、適切に表現しようとする態度を育てる。
- (3) 目的に応じ、内容の中心をとらえたり段落相互の関係を考えたりしながら読むことが出来るようにするとともに、幅広く読書しようとする態度を育てる。

授業の工夫

発表や話し合い活動を多く取り入れます。(スピーチ・グループ発表)
 書く活動を多く取り入れます。(日記・ワークシート・作文・感想文)
 いろいろな読み物に親しみます。(図書の日・朝の読書)
 基本を大切に、繰り返し練習を行います。(漢字の学習・音読練習)

年間授業計画

月	単元名	時数	
4	1. 場面のようなすを思いうかべながら声に出してよもう	18	(評価の観点) 【国語への関心・意欲・態度】 国語に対する関心を持ち、進んで話し合ったり、適切に書いたり、読書の範囲を広げたりしようとする。 【話す・聞く能力】 相手や目的に応じ、調べた事などについて、筋道を立てて話したり、話の中心に気を付けて聞いたりする。 【書く能力】 相手や目的に応じ、調べた事などが伝わるように、段落相互の関係を工夫して文章を書く。 【読む能力】 目的に応じ、内容の中心をとらえたり段落相互の関係を考えたりしながら読む。 【言語についての知識・理解・技能】 音声、文字、語句、文や文章、言葉遣いなどの国語についての基礎的な事項について理解している。書写では、文字の大きさ、配列、毛筆では、点画の接し方、交わり方、方向、文字の組み立て方などを理解して文字を正しく書く。
5	2. 自分をしょうかいするスピーチをしよう 【毛筆の姿勢】<毛筆で書こう> 【横画】<一>	22	
6	3. だんらくごとに内ようをとらえながら読もう 【横画】<二>	23	
7	4. 物語のあらすじを考えながら読もう 出来事をつたえよう 【たて画】<下>	17	
9	5. 中心をはっきりさせてせつ明しよう 【おれ】<日>	19	
10	6. 世界の民話を読もう 想ぞうを広げて 【はらい】<大>	26	
11	7. いろいろなお祭りについて調べよう 【はね】<小>	23	
12	8. つたえたいことをはっきりさせて書こう 【書きぞめ】<正月>	20	
1	9. よりよい暮らしについて話し合おう 【書きぞめ】<正月>	21	
2	10. 中心となる人物の気持ちを考えよう 【まとめ】<水>	26	
3	11. 想ぞうしたことを書こう	20	
年間授業時数		235	(評価の方法) 国語では、次の6つの観点で評価します。 「国語に関心を持ち適切に表現し、幅広く読書しようとする。」 授業への参加態度、提出物、読書、発表等 「筋道を立てて話し、話の中心に気を付けて聞くことができる。」 発表、ノート等 「相手や目的に応じ、段落相互の関係を考え、書くことができる。」 ノート、ワークシート、作文、日記等 「場面の移り変わりや情景をとらえ、想像しながら読むことができる。」 音読、発表、テスト等 「文字や語句などの基礎的な事項がわかる。」 テスト、ノート等 「文字の大きさや配列に気をつけ、整えて書くことが出来る。」 書写、ノート等